



2019年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	8,079	10.6	347	27.5	367	2.4	222	15.2
2018年6月期第1四半期	7,308	7.8	272	48.6	358	85.3	192	67.6

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 256百万円 (2.9%) 2018年6月期第1四半期 263百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	55.24	
2018年6月期第1四半期	47.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	22,174	11,135	48.2
2018年6月期	22,117	11,088	48.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 10,697百万円 2018年6月期 10,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		50.00	50.00
2019年6月期					
2019年6月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	0.8	740	0.9	850	0.6	520	0.6	129.21
通期	34,000	2.9	1,750	1.9	1,840	0.8	1,070	4.7	265.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期1Q	4,369,200 株	2018年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2019年6月期1Q	344,760 株	2018年6月期	344,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期1Q	4,024,440 株	2018年6月期1Q	4,024,509 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦や米国の保護主義の台頭等の不安材料にも拘わらず世界経済が順調に拡大したため、その恩恵を受ける形で企業業績や株価が好調を維持し、設備投資も活発に行われる環境下で推移しました。

当社グループとしましては、守備範囲としているIoT技術とFA技術の融合領域であるインテリジェントFA技術において、IoTを始めとしたイノベーションが活性化し新規のビジネスエリアが急速に拡大しており、また人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボットに対する需要拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには非常に強い追い風が吹きました。また、世界経済拡大の波に乗り、海外で発生する新規需要を15年以上も前から整備・拡大してきた海外ネットワークを活かした海外ビジネスも拡大の一途を辿りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は80億79百万円（前年同四半期比10.6%の増）となり、損益面としましては営業利益が3億47百万円（同27.5%の増）、経常利益が3億67百万円（同2.4%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億22百万円（同15.2%の増）となり、売上高及び全損益項目において第1四半期連結累計期間としての過去最高の金額となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、IoTを活用した設備投資の増大により各種検査装置が好調だったこと、2年前から開始した水質検査ビジネスが急拡大していること等により、地合としては順調に推移しています。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は26億40百万円（前年同四半期比2.7%の減）、営業利益は1億8百万円（同2.8%の減）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においては子会社で進めているメカトロニクス取引が大きく伸張したのに加え、科学分析機器等も好調だったので前年同期に比べ大幅な増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は54億28百万円（前年同四半期比18.4%の増）、営業利益は3億17百万円（同27.8%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は221億74百万円で、前連結会計年度末に比べ57百万円の増加となりました。これは主として現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が110億39百万円で、前連結会計年度末に比べ11百万円の増加となりました。これは主として未払法人税等及び流動負債のその他が減少した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が111億35百万円で、前連結会計年度末に比べて46百万円の増加となりました。これは主として利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の足元の状況は、米国の好調な経済に牽引された世界経済が順調であることの恩恵を強く受けていること、為替も円安方向で安定していること等から順調に拡大しております。

斯様な状況下、足元の日本経済で労働力の不足が深刻化しており、ロボット等省力化システムの導入とAIとロボットとのコラボによるロボット作業範囲の拡大と高度化、IoTの普及等新技術の出現によるシステムの高度化・効率化等が革命的に進行しており、これらは当社グループが従来推し進めてきたインテリジェントFAビジネス自体に属し、当社グループビジネスの中核部分で起きている変革であることから、当社グループにとっては技術革新によって創造された新規ビジネスが次々と生まれる非常に有利な追い風が吹いています。

以上により、2019年6月期の通期業績予想につきましては、2018年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,365	1,198,624
受取手形及び売掛金	9,609,479	9,808,045
電子記録債権	2,326,115	2,366,602
有価証券	112,746	-
商品及び製品	562,951	597,184
仕掛品	414,082	478,643
原材料	485,899	535,428
その他	191,226	246,385
貸倒引当金	△230,362	△273,742
流動資産合計	14,906,505	14,957,172
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,949,870	3,949,870
その他(純額)	1,082,669	1,073,265
有形固定資産合計	5,032,539	5,023,135
無形固定資産		
	78,201	74,455
投資その他の資産		
投資有価証券	1,616,001	1,648,340
その他	633,096	620,780
貸倒引当金	△149,317	△149,327
投資その他の資産合計	2,099,779	2,119,793
固定資産合計	7,210,520	7,217,384
資産合計	22,117,026	22,174,557
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,391,698	6,724,109
電子記録債務	1,247,122	1,343,153
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	800,000
未払法人税等	432,818	165,932
賞与引当金	149,372	299,326
役員賞与引当金	46,900	-
その他	747,837	522,085
流動負債合計	10,115,749	9,854,607
固定負債		
長期借入金	600,000	900,000
退職給付に係る負債	205,466	205,415
その他	107,188	79,461
固定負債合計	912,654	1,184,876
負債合計	11,028,403	11,039,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,079	1,872,079
利益剰余金	7,521,500	7,542,606
自己株式	△424,300	△424,300
株主資本合計	10,410,719	10,431,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246,269	265,181
その他の包括利益累計額合計	246,269	265,181
非支配株主持分	431,633	438,065
純資産合計	11,088,622	11,135,072
負債純資産合計	22,117,026	22,174,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	7,308,054	8,079,776
売上原価	6,102,078	6,762,944
売上総利益	1,205,976	1,316,832
販売費及び一般管理費	933,730	969,756
営業利益	272,245	347,076
営業外収益		
受取利息	1,558	1,108
受取配当金	1,027	1,356
仕入割引	9,985	9,033
為替差益	3,050	9,015
補助金収入	68,071	-
雑収入	5,562	5,699
営業外収益合計	89,255	26,213
営業外費用		
支払利息	1,723	1,537
手形売却損	341	-
売上割引	908	1,076
雑損失	-	3,500
営業外費用合計	2,973	6,113
経常利益	358,527	367,176
特別利益		
固定資産売却益	15	64
投資有価証券売却益	27,442	27,032
保険解約返戻金	-	11,888
特別利益合計	27,458	38,985
特別損失		
固定資産除却損	50	0
事務所移転費用	3,514	-
特別損失合計	3,564	0
税金等調整前四半期純利益	382,421	406,161
法人税等	178,654	165,649
四半期純利益	203,766	240,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,852	18,183
親会社株主に帰属する四半期純利益	192,914	222,328

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	203,766	240,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,156	15,635
その他の包括利益合計	60,156	15,635
四半期包括利益	263,923	256,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,127	241,240
非支配株主に係る四半期包括利益	16,795	14,907

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,714,159	4,583,442	7,297,602	10,452	7,308,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	89,747	91,016	180,763	17,498	198,262
計	2,803,907	4,674,458	7,478,366	27,950	7,506,317
セグメント利益	111,503	248,559	360,062	23,276	383,338

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	360,062
「その他」の区分の利益	23,276
全社費用(注)	△111,093
四半期連結損益計算書の営業利益	272,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,640,174	5,428,977	8,069,151	10,624	8,079,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	143,562	118,380	261,942	17,292	279,234
計	2,783,736	5,547,357	8,331,093	27,917	8,359,010
セグメント利益	108,427	317,555	425,982	23,879	449,862

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	425,982
「その他」の区分の利益	23,879
全社費用(注)	△102,786
四半期連結損益計算書の営業利益	347,076

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。